



## バーレーン王国

### Kingdom of Bahrain

2007年5月現在



#### 一般事情

- 1.面積 720.14平方キロメートル(奄美大島とほぼ同じ大きさの島国)
- 2.人口 70.7万人、うちバーレーン人は、43.8万人(62%)(2004年末現在)
- 3.首都 マナーマ市
- 4.民族 アラブ人
- 5.言語 アラビア語
- 6.宗教 イスラム教(スンニー派約3割、シーア派約7割)
- 8.通貨 バーレーン・ディナール(BD)  
為替レート 1\$ = 0.3780BD(公定レート)  
補助通貨単位 1,000フィル = FIL/S

#### 9.査証(ビザ)

- 10.在留邦人数 202名(2006年10月現在)
- 11.在日当該国人数 -
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 973 国際通話コード 0
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)  
税率 - %  
製造数量 - (百万本/年)  
シガレットメーカー **No Cigarette Manufacturers in this Country**

#### 15.略史

古代バビロニア、アッシリア時代にはディルムーンという名の有力な、貿易中継地であり、またBC3世紀から15世紀にかけては真珠の産地として栄えた。  
18世紀にアラビア半島から移住したハリーフ家がバーレーンの基礎を作り、1932年には石油の生産を開始、その後近代化を進め、1971年8月英国から独立した。

#### 16.在外大使館・領事館

在バーレーン王国日本国大使館  
Embassy of Japan in Bahrain  
House No.55, Salmaniya Avenue Salmaniya 327 P.O.Box 23720  
Tel +973(国番号)-17-716-565 Fax: +973(国番号)-17-715-059  
緊急時連絡先:+973(国番号) -3-9407289

#### 17.駐日大使館・領事館

バーレーン王国大使館  
Embassy of the Kingdom of Bahrain in Japan  
〒107-0052 港区赤坂1丁目11-36 レジデンス バイカウテス 720号  
電話: 03-3584-8001

#### 政治体制・内政

- 1.政体 立憲君主制(世襲君主制)
- 2.元首 キング・ハマド・ビン・イーサ・アール・ハリーフ王国
- 3.議会 1973年 国民議会招集(1975年解散、廃止)  
1992年 諮問評議会を設置(立法権なし) 2002年 解散  
2002年 二院制の国民議会(諮問院・下院)を設置(立法権あり)
- 4.政府 (1)首相 シェイク・ハリーフ・ビン・サルマン・アール・ハリーフ  
(2)外相 シェイク・ハーリド・ビン・アハマド・ビン・ムハンマド・アール・ハリーフ
- 5.内政

ハリーフ家を中心とする支配層(スンニー派)により、基本的には安定的な国家運営。  
国民の多数派を占めるシーア派の動向は、内政安定上重要な要因。近年、若年層の失業問題が政治問題化。  
1994年末には、マナーマ市郊外にて騒擾事件が発生。  
翌1995年6月、20年ぶりの内閣改造が行われたが、1995年に入ってから爆弾テロ事件を含む騒擾事件が断続的に発生。  
1996年6月、バーレーン政府は、「ヒズボラ・バーレーン」なる組織による「政府転覆計画」を未然に阻止し、同組織の幹部44名を逮捕。  
2004年5月イラク国内の聖地に対する米軍の攻撃等への抗議デモ集団が治安部隊と衝突し、流血事件に発展(事件発生日に内相が交代)。現在は落ち着きを取り戻している。  
1999年3月、イーサ首長が逝去し、ハマド皇太子が首長位を継承。  
2001年2月、「国民行動憲章」が成立。  
2002年2月、憲法改正。体制を首長制から王制に変更。  
国名を「バーレーン王国」に改める。二院制国民議会を設置。  
2002年10月、下院選挙(第1回)  
2002年11月、諮問院議員の任命、内閣改造。  
2005年1月、内閣改造  
2005年9月、内閣改造  
2006年11月、12月、下院選挙(第2回)

## 外交・国防

### 1. 外交基本方針

(1) サウジアラビアを中心とした湾岸協力理事会 (GCC: Gulf Cooperation Council) の一員として善隣友好関係の維持を軸としたアラブ諸国、非同盟諸国との協力を基本方針とする。歴史的背景から英国との関係は深い。

(2) イラクのクウェート侵攻に当たっては、サウジと協調しつつ、米・英軍を受け入れ、

湾岸戦争後、米国との関係は一層緊密さを増し、1991年には米国と防衛協定を、1992年には英国と防衛協力合意を締結。

米第五艦隊司令部が存在する。

(3) 2004年米国と自由貿易協定 (FTA) を締結。

### 2. 軍事力

(1) 国防費 3.31億ドル(2002年)

(2) 兵役 志願制

(3) 兵力 正規軍11,200人(陸8,500人、海1,200人、空1,500人)

準軍事組織10,160人

保安警察9,000人、

国家警備隊900人(1997年首長令により創設)、

沿岸警備隊260人

## 経済

### 1. 主要産業

石油精製、アルミニウム精錬、サービス業(金融、観光等)

### 2. GDP

実質 約86億ドル(2004年)

名目 約110億ドル(2004年)

### 3. 一人当たりGDP

16,681ドル(2005年)

### 4. 経済成長率

5.9%(推計 2004年比)

### 5. 財政

(1) 歳入 33.73億ドル(2006年予算)

(2) 歳出 41.75億ドル(2006年予算)

### 6. 失業率

約6.6%(2003年)(政府発表による値)

### 7. 総貿易額

(1) 輸出 74.8億ドル(2004年)

(2) 輸入 64.5億ドル(2004年)

### 8. 主要貿易品目(2004年)

(1) 輸出 石油、アルミニウム製品、石油化学製品、衣料品

(2) 輸入 原油(精製用)、車、電気製品、機械・輸送機器、アルミナ

### 9. 主要貿易相手国(2004年)(非石油部門のみ)

(1) 輸出 アラブ諸国(41%)、アジア(33%)(うち日本4%)、米国(12%)

(2) 輸入 アジア(23%)(うち日本6%)、ヨーロッパ(31%)、アラブ諸国(18%)、  
米国(9%)、オセアニア(8%)

### 10. 通貨

バーレーン・ディナール(BD)

### 11. 為替レート

1\$ = 0.3780BD(公定レート)

### 12. 経済概況

石油精製・アルミ精錬を始めとした工業化推進による産業多角化をすすめ、中東の金融センターとしての地位を確立。

近年は観光政策にも力を入れ、産業投資誘致促進及び雇用機会の創出を目指している。

## 経済協力

### 1. 我が国の援助実績

(1) 有償資金協力(2004年度まで、ENベース) なし

(2) 無償資金協力(2004年度まで、ENベース) 0.61億円

(3) 技術協力実績(2004年度まで、JICAベース) 13.45億円

### 2. 主要援助国(2003年)

(1) フランス (2) 日本

## 二国間関係

### 1. 政治関係

(1) 1971年、バーレーンの独立を承認。

1983年大使館開設(1988年3月本任大使着任)。

バーレーンは2005年、在京大使館を開設。

(2) 両国関係は経済分野を中心に良好。

### 2. 経済関係

(1) 対日貿易

(イ) 貿易額(2004年)

対日輸出 約298億円

対日輸入 約423億円

(ロ) 主要品目

対日輸出 石油製品、アルミ製品

対日輸入 自動車、電気製品

(2) 我が国からの直接投資(1998年度末累計)

29件 3億ドル

(3) 1997年、日・GCC民間合同委員会開催(於マナーマ)。

### 3. 文化関係

和太鼓デモンストレーション(2001年)、流鏝馬公演(2002年)、琉球舞踊公演、アラブ音楽公演(2003年)、生け花デモンストレーション(2004年)、和太鼓・津軽三味線公演(2007年)等の各種行事を実施。

### 4. 在留邦人数

202名(2006年10月現在)

日本人学校(1984年開校)。(22名在籍)

5.要人往来

(1)往訪(1985年以降)

年月	要人名
1985年	左藤郵政大臣
1986年	衆議院調査団(石川要三議員団長) GCC派遣青年団(牧野隆守議員団長)
1987年	藤井大蔵政務次官
1989年	国広外務審議官
1991年	鈴木外務政務次官 自民党国防三部会議員団(山崎拓議員団長)
1994年	皇太子同妃両殿下
1997年	平林外政審議室長(総理特使) 佐藤前通産大臣(政府代表)
1999年	町村外務政務次官(イーサ首長逝去に際しての政府特派大使)
2001年	衛藤外務副大臣、丸谷外務大臣政務官
2002年	松浪外務大臣政務官
2005年	河井外務大臣政務官 金田外務副大臣(「未来のためのフォーラム」第2回会合)
2006年	久間自民党総務会長(ザハラー二下院議長招待) 岩屋副大臣 小池総理補佐官

(2)来訪(1985年以降)

年月	要人名
1985年	ジッシー電気・水相 モアイヤド情報相(非公式) イーサ青年スポーツ評議会議長
1986年	シラーウィ開発工業相(非公式)
1989年	シラーウィ開発工業相(外賓) アリ殿下(運輸相)(大喪の礼参列)
1990年	ハッサ妃殿下(イーサ首長夫人)(非公式) アリ殿下(運輸相)(即位の礼参列)
1991年	イーサ首長(非公式)
1992年	モアイヤド情報相(非公式)
1994年	アリ運輸相(ITU京都会議)
1995年	サルマン・バーレーン研究センター所長(現皇太子)(非公式)
1996年	イーサ石油・工業相(非公式) ハーリド住宅・自治体・環境相(非公式)
2001年	ムハマンド外相(外賓)
2002年	サルマン殿下(国際エネルギーフォーラム)
2004年	アブドル・アジーズ外務次官補(高級実務者招聘)
2005年	ファワーズ青年スポーツ庁長官(非公式)
2005年	マアラージ金融庁(BMA)総裁(東京工業品取引所との覚書締結)
2006年	マアラージ金融庁(BMA)総裁(イスラム金融フォーラム)

6.二国間条約・取極

航空協定(1998年締結)

7.外交使節

- (1)近藤剛特命全権大使
- (2)ハリール・イブラヒーム・ハッサン特命全権大使